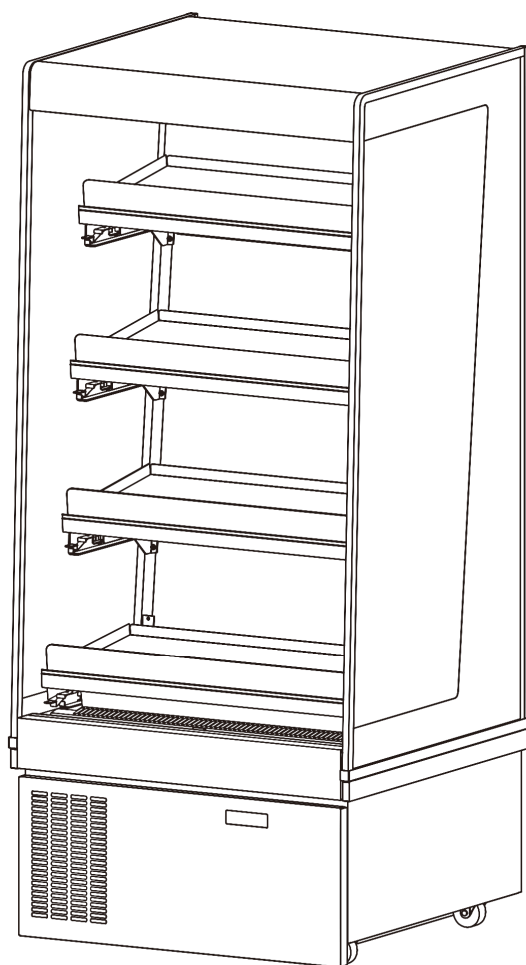


三菱ショーケース (冷凍機内蔵形)

エスピー エイチエフ エヌアルエー
SB-HF2014NRA
SB-HF2514NRA
SB-HF3014NRA

ノンフロン (業務用)

取扱説明書



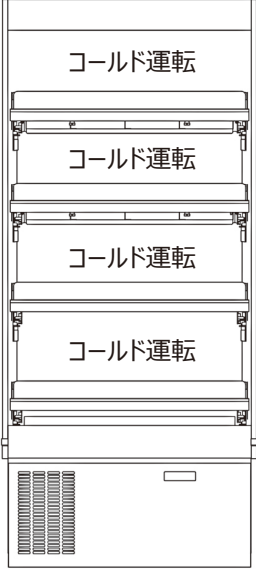
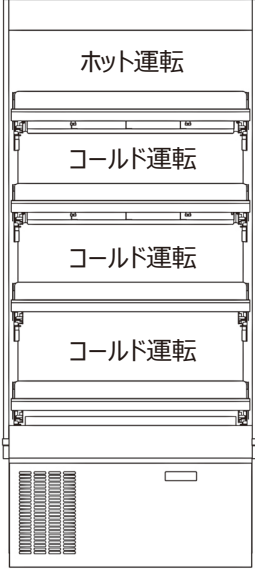
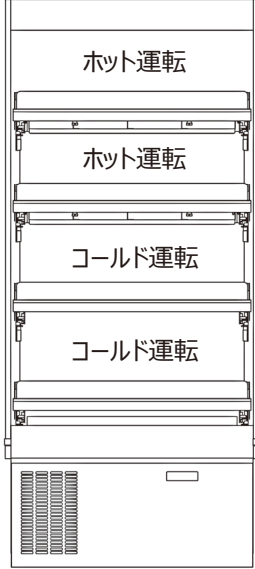
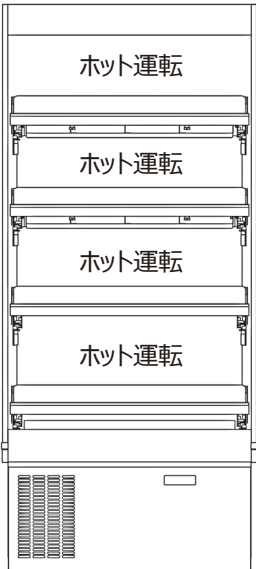
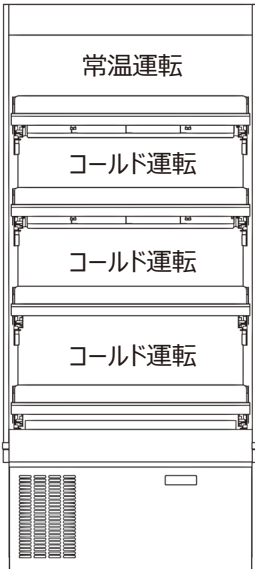
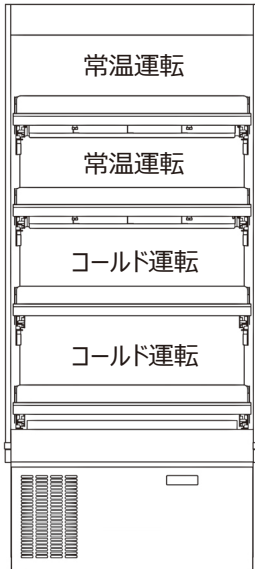
- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は必ず読んで正しくお使いください。
- 「保証書」はお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- お使いの製品を譲渡または貸与される場合は、新しくお使いになるお客様が安全な正しい使い方を知るために、この「取扱説明書」を製品の目立つところに添付してください。
- 別添の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。また製品を譲渡や貸与されるときは製品に添付してください。
- ご使用されるお客様自身で据え付けしないでください。
(安全や機能の確保ができません)

お取扱販売店の方へ

ショーケースをお客様に引き渡しされる前に、必ず取扱説明書で「安全のために必ず守ること」「ご使用方法」等をお使いになる方にご説明ください。

特長

このショーケースは以下の6種類の運転パターンが可能です。

オールコールド	1ホット&3コールド	2ホット&2コールド
<p>工場出荷時設定</p> 	<p>設定方法 P.16</p> 	<p>設定方法 P.16</p> 
オールホット	1常温&3コールド	2常温&2コールド
<p>設定方法 P.16</p> 	<p>設定方法 P.18</p> 	<p>設定方法 P.18</p> 

ご使用上のお願い

- 食品販売用のショーケースです。医薬品や学術試料など食品以外の保管には使用しないでください。
- 硫黄系ガス・酸・アルカリ雰囲気（温泉地、化学薬品工場、下水処理場、メッキ工場、食品加工工場や加工をする店舗等）では、熱交換器や配管が腐食をおこすおそれがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 製品を長く、清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れ・点検をしてください。

もくじ

		ページ
ご使用の前に	特長／ご使用上のお願い	2
	安全のために必ず守ること	4
	各部のなまえとはたらき	7
	ご使用前の準備	10
	ご使用方法	12
ご使用のときに	冷却運転を開始・停止する	…12
	トップ照明を点灯・消灯する	…13
	陳列棚（スライド式）について	…13
	ナイトカバーを使う	…13
	オールコールド運転をする	…14
	ホット&コールド・オールホット運転をする	…16
	常温&コールド運転をする	…18
	コールド運転の目標温度設定値を変更する	…20
	コントローラー キー操作ロック機能について	…21
	コントローラー キー操作ロックのしかた	…22
	コントローラー キー操作ロック一時解除のしかた	…23
	コントローラー キー操作ロック変更・解除のしかた	…23
	お手入れと点検	24
	お手入れ・点検箇所と頻度	…24
お手入れをする前に	…25	
フィルター お手入れ：月に1回	…26	
電源プラグ お手入れ：半年に1回	…26	
蒸発板 お手入れ：半年に1回	…27	
漏電遮断器 点検：月に1回	…28	
蒸発皿・オーバーフロータンク 点検：日常	…28	
水位センサ 点検：日常	…29	
消耗品	…29	
こんなときに	故障かな？と思ったら	30
	運転しない	…30
	音がうるさい	…30
	蒸発皿にドレン水が頻繁にたまる	…30
	よく冷えない	…31
	よく温まらない	…31
	常温飲料が冷たく感じる あたたかく感じる	…32
	常温運転時に結露する	…32
	コントローラーの操作ができない	…32
	ドレン満水警報が赤く点滅する	…32
	コントローラーにエラー表示が出たときは	…33
	据付工事確認と試運転	34
	保管・移設・廃棄について	34
	仕様	35
保証とアフターサービス	36	









安全のために必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆ 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------








◆ 図記号の意味は次の通りです。

してはいけない「禁止」事項		お守りいただく「指示」事項	
 禁止	 分解禁止	 接触禁止	 指示を守る
 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	 アース接続	 電源プラグを抜く



















電源プラグ・電源コード

 警告	 禁止	電源コードに重いものをのせたり挟み込んだりしない 火災・感電の原因	 禁止	電源コードを傷つけたり加工しない 火災・感電の原因
	 禁止	電源コードを無理に曲げたりたばねたりしない 火災・感電の原因	 禁止	電源プラグはコードを引っ張って抜かない 発熱・火災の原因
	 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因	 禁止	電源コードは延長コードの使用やタコ足配線をしない 発熱・火災の原因
	 ほごりを取る	電源プラグのほごりを定期的に取り取る 火災の原因	 差し込む	電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む 火災・感電の原因

据え付け時

 警告	 水ぬれ禁止	屋外で使用しない 火災・感電・漏電の原因	 水ぬれ禁止	湿気が多い所や水のかかりやすい場所に据え付けない 漏電・感電の原因
	 依頼する	据え付けは取扱販売店または設置業者に依頼する 火災・感電・水漏れの原因	 使用する	電源は専用の単相100Vコンセントを使用する 発熱・火災の原因
	 アース接続	アースを接続する アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない 感電の原因	 固定する	製品質量に十分耐える所に据え付けて固定する ケガの原因

ご使用时

 警告	 製品に直接水をかけない 漏電・感電の原因 水ぬれ禁止	 揮発性・引火性のあるものは庫内に入れない 爆発・火災の原因 入れない
	 可燃性のスプレーを近くで使用したり可燃物を置かない 爆発・火災の原因 置かない	 ぬれた手で電気部品のスイッチを操作しない 感電の原因 ぬれ手禁止
	 ホット用以外の炭酸飲料・ビン飲料をホット棚に置かない 破損によるケガ原因 禁止	 ホット運転時は棚に直接手を触れない やけどの原因 接触禁止
	 漏電遮断器が作動した場合は、電源プラグを抜くか、元電源を切る 火災・感電の原因 電源を切る	 異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか、元電源を切る 火災・感電の原因 電源を切る
	 換気をよくする 冷媒がもれたときに酸素欠乏の原因 換気をよくする	
 注意	 製品の上には重量物や水を入れた容器を置かない ケガ・感電の原因 置かない	 製品の上に乗らない ケガの原因 乗らない
	 棚には許容質量以上の商品をのせない ケガの原因 のせない	 棚を引き出したまま寄りかかったり、つかまったりしない 転倒・ケガの原因 禁止
	 複数の棚を同時に引き出さない 転倒・ケガの原因 禁止	 棚の取り付けは正しく確実にセットする ケガの原因 セットする
	 棚ガードを取り付けて商品を陳列する 商品落下によるケガの原因 取り付ける	

安全のために必ず守ること つづき

点検・お手入れのとき

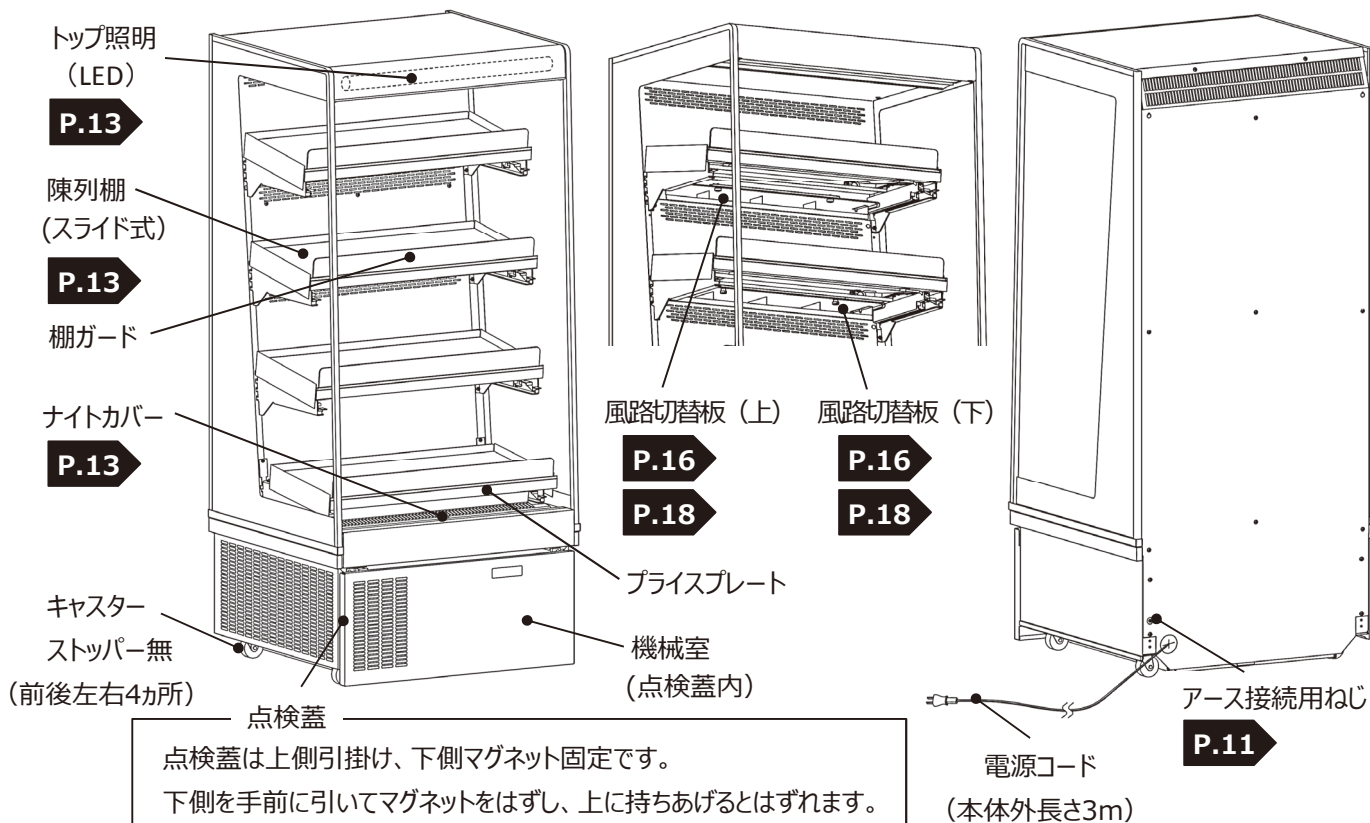
 警告	 <p>専門業者以外の方は絶対に 分解・修理・改造をしない 火災・感電・水漏れ・ケガの原因</p>	 <p>指定以外の冷媒を使用しない 破裂・ケガの原因</p>
	 <p>電源を切る</p> <p>お手入れや点検のときは必ず 電源プラグを抜くか、漏電遮断器を切る 感電・ケガの原因</p>	 <p>確認する</p> <p>漏電遮断器は定期的に動作を確認する 火災・感電の原因</p>
 注意	 <p>接触禁止</p> <p>フィルター清掃時は凝縮器 フィンに直接手を触れない ケガの原因</p>	

保管・移設時

 警告	 <p>電源プラグを抜く</p> <p>長期間ご使用にならない場合は、安全のために電源プラグを抜く 火災の原因</p>	 <p>依頼する</p> <p>移設は取扱販売店または専門業者に依頼する 火災・感電・水漏れ・ケガの原因</p>
	 <p>傷つけない</p> <p>製品を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードを傷つけないように移動する 火災・感電の原因</p>	 <p>力を加えない</p> <p>製品を移動するときは、ガラス部分に力を加えない ケガの原因</p>
	 <p>避ける</p> <p>製品を保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避ける ケガの原因</p>	
 注意	 <p>水ぬれ禁止</p> <p>長期間ご使用にならない場合は、水のかかる場所や湿気の多い所に保管しない 漏電・感電の原因</p>	 <p>よく乾燥させる</p> <p>長期間ご使用にならない場合は、庫内の水気をよく乾燥させる 水漏れの原因</p>
	 <p>排水する</p> <p>製品を移動するときは、蒸発皿・オーバーフロータンクの水を排水をする 漏電・感電の原因</p>	

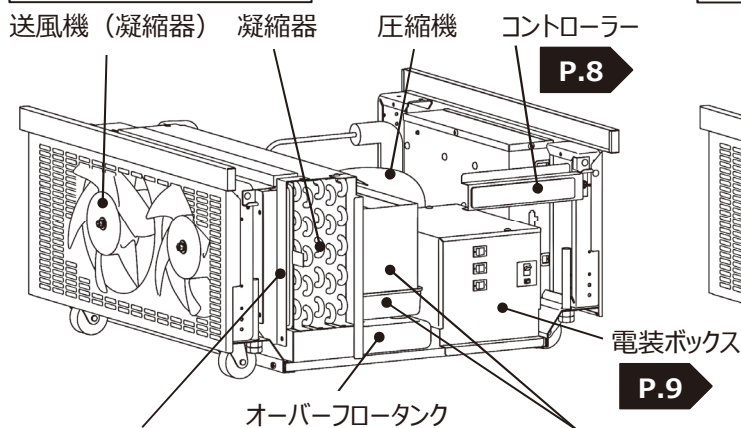
各部のなまえとはたらき

本体

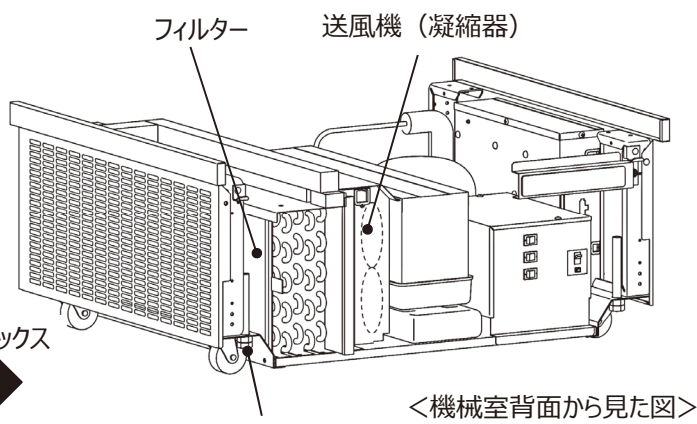


機械室

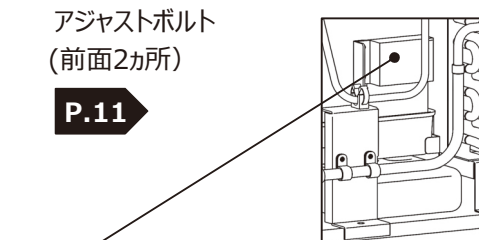
SB-HF2014NRA配置図



SB-HF2514NRA ・ SB-HF3014NRA配置図

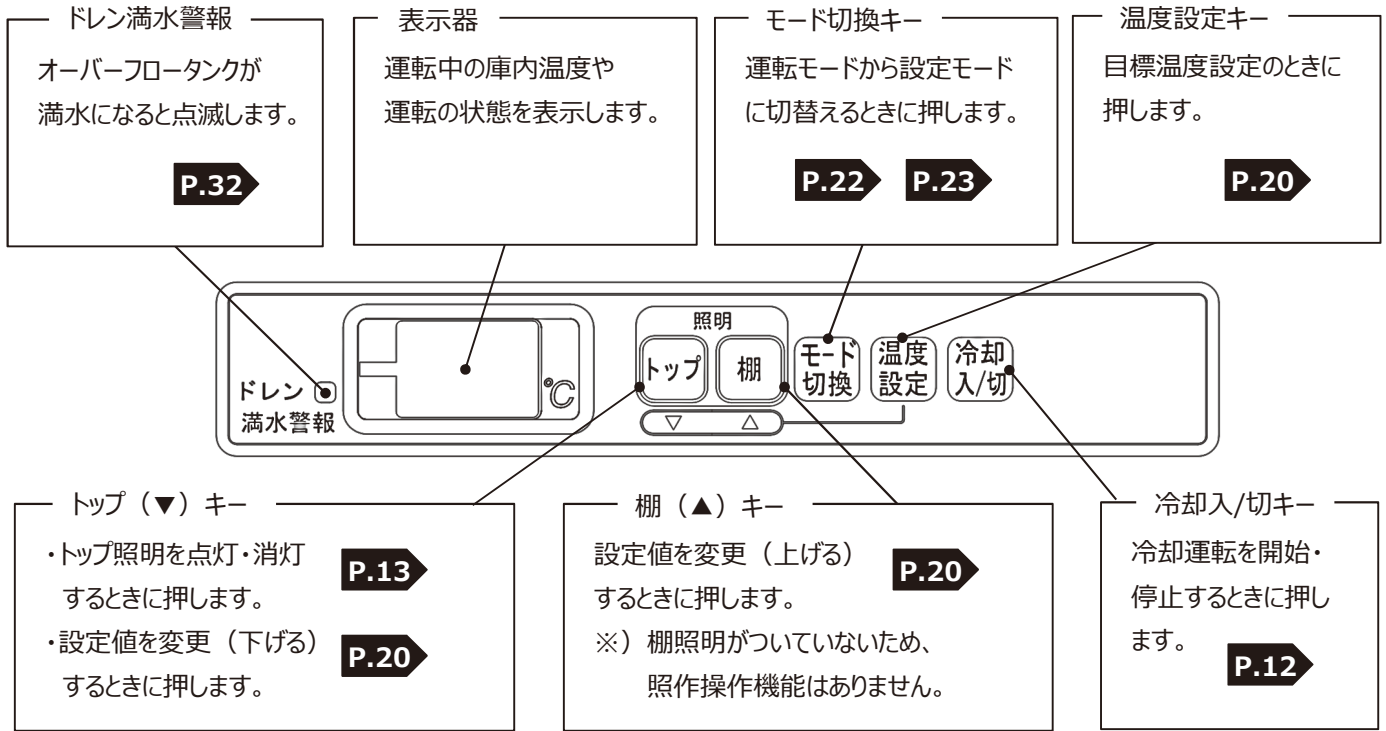


<機械室背面から見た図>



各部のなまえとはたらき つづき

コントローラー



運転中の表示

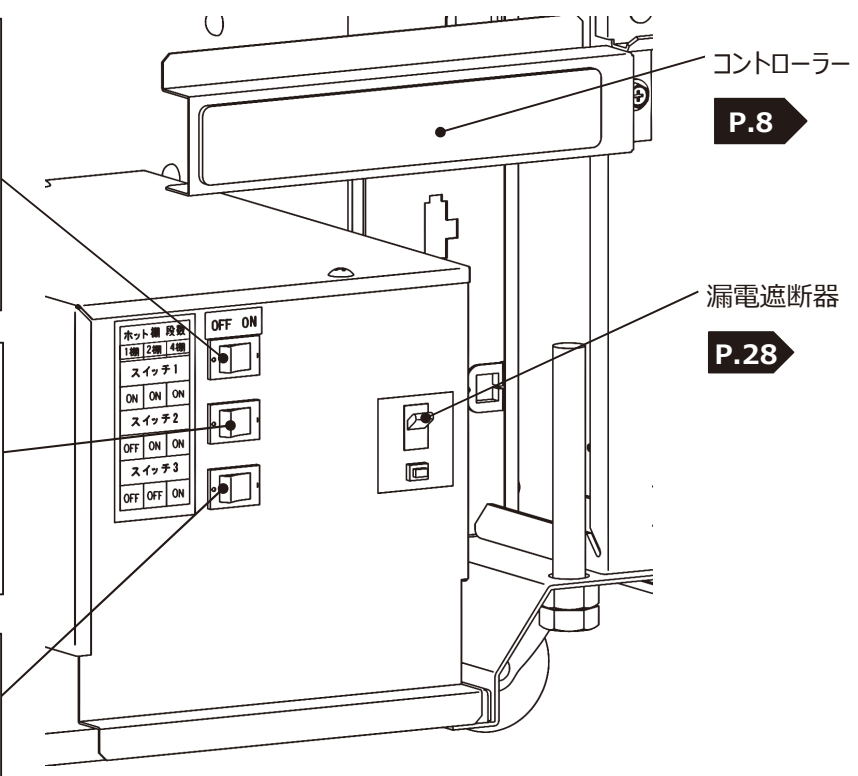
表示	運転状態	表示	運転状態
 (バーバー)	冷却運転停止中	 (庫内温度と異常表示の交互点滅)	異常警告表示 P.33
 (庫内温度 7℃の場合)	冷却運転中 ※) 運転中はコールド運転時の庫内温度を表示します。	 (庫内温度点滅)	点滅周期 3.0秒点灯/0.5秒消灯の場合 異常警告表示 P.33
 (エイチ)	オールホット運転中	 (庫内温度点滅)	点滅周期 0.5秒点灯/0.5秒消灯の場合 除霜禁止モード P.33
 (デーエフ)	霜取り運転中 ●冷却器霜取りのため、2時間周期で(12回/日)霜取り運転を行ないます。		
 (ピーデー)	霜取り運転終了後の急冷運転中 ●庫内温度が目標温度設定値+3℃以下になるか、または霜取り運転終了から1時間経過後に庫内温度表示に戻ります。		

電装ボックス

— スイッチ1 —
上から1段目の陳列棚ヒーターを「ON/OFF」します。
運転パターン 1ホット&3コールド
2ホット&2コールド
オールホット
のときにONにします。



— スイッチ2 —
上から2段目の陳列棚ヒーターを「ON/OFF」します。
運転パターン 2ホット&2コールド
オールホット
のときにONにします。

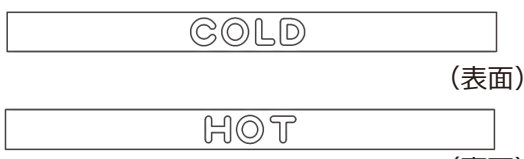

— スイッチ3 —
上から3・4段目の陳列棚ヒーターを「ON/OFF」します。
運転パターン オールホット
のときにONにします。



● 常温運転時には棚ヒータースイッチ1～3は「ON」にしないでください

付属品

	エアガード	品温ガード
付属品		
	使用方法 P.15 P.17 数量 1枚	使用方法 P.17 P.19 数量 4枚

	COLD・HOT 表示	常温 表示
付属品	 <p>(表面) (裏面)</p> <p>出荷時は“COLD”面を表側にして前面の プライスプレート内に挿入しています。</p>	
	使用方法 P.14 P.16 数量 4枚	使用方法 P.18 数量 2枚

ご使用前の準備

据え付け場所の選定

性能を十分発揮できるように次のような場所に設置してください。

ご使用されるお客様自身で据え付けしないでください。（安全や機能の確保ができません）

周囲環境

温度	15～25℃
湿度	60%以下

- この表の範囲を外れると性能の低下の原因になります。
- 周囲温度が35℃以上（夜間、空調運転停止時など）になると、保護装置により正常な冷却運転が保てなくなります。

風のあたらないところ

周囲風速	0.2m/sec以下
------	------------

- 店舗の出入口付近や空調ダクト・換気扇など風の影響を受ける場所に据え付けしないでください。

ショーケース庫内に外気が入り込みやすくなり、冷却性能や蒸発性能低下の原因になります。

熱気から離れたところ

- 近くに熱源があるところや、直射日光のあたるところに据え付けしないでください。

ショーケースの周囲温度が上昇し、暖かい外気が庫内に入り込み冷却性能低下の原因になります。

吸気・排気スペースを確保する


- ショーケースの左右に10cm以上のすきまを確保してください。
- 前面の吸気口や背面上部の排気口をダンボールや商品などでふさがないでください。

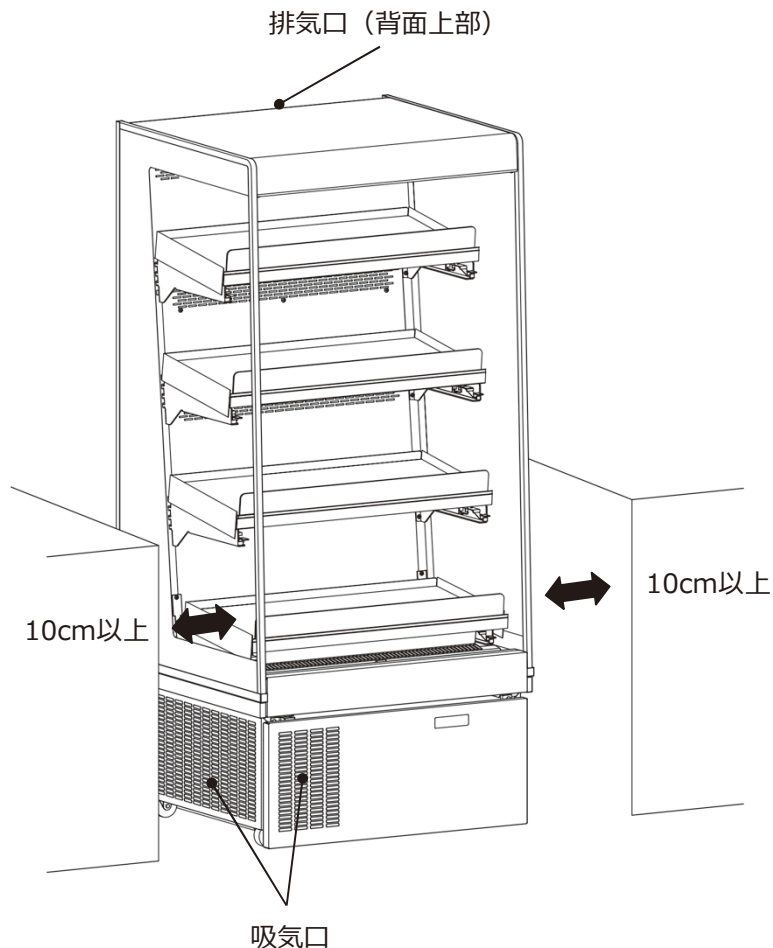
吸気・排気スペースを確保していないと、冷却性能や蒸発性能低下の原因になります。

丈夫で水平なところ

- 丈夫で水平なところに据え付けてください。

音や振動の原因になります。

 警告	据え付けは取扱販売店または設置業者に依頼する 火災・感電・水漏れの原因
	屋外で使用しない 火災・感電・漏電の原因
	湿気が多い所や水のかかりやすい場所に据え付けない 漏電・感電の原因



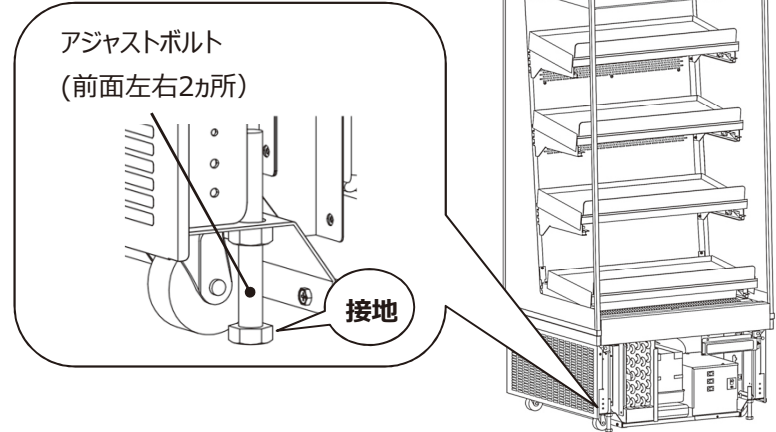
設置

傾き

ショーケースの左右前後の傾きを水平になるようにアジャストボルトで調整をしてください。

固定

ショーケースが移動しないようにアジャストボルト（前面左右2カ所）で固定してください。



電源

電源

電源	電源プラグ
単相100V	2極（125V 15A）



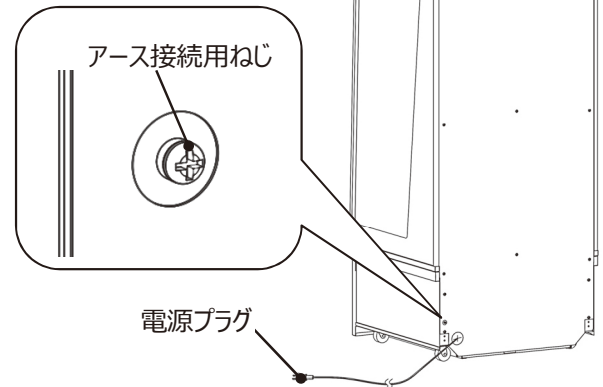
警告

電源は専用の単相100V
コンセントを使用する
発熱・火災の原因

アース

万が一の感電を防止するために、アースを接続してください。

- アース接続用ねじはショーケース本体背面の左下部にあります。
- アース端子がない場合は、必ずD種接地（アース）工事を実施してください。



お取扱販売店の方へ

アース線（銅線直径1.6mm以上）をご準備ください。

このショーケースの据え付けは、お買い上げの販売店が下記に基づき実施しています。

据付工事完了後、34ページの事項をお客さま自身でご確認ください。



警告

アースを接続する
アース線はガス管・水道管・避雷針・
電話のアース線には接続しない
感電の原因

工事名	関連法規・内容	資格
アース接地工事	「電機設備に関する基準」および「内線規程」	第二種電気工事士

ご使用方法

食品販売用のショーケースです。医薬品や學術試料など食品以外の保管には使用しないでください。

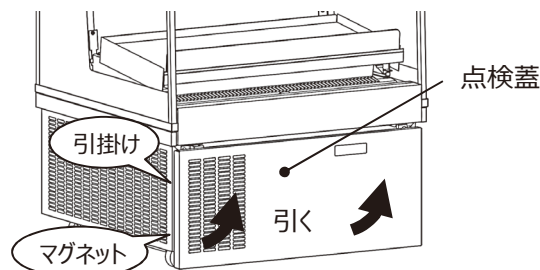
冷却運転を開始・停止する

運転を開始する前に、ショーケース専用の単相100Vコンセントを使用していることを確認してください。

オールコールド、ホット&コールド、常温&コールド運転をするときに以下の手順で冷却運転を開始・停止できます。

1 点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側引掛け、下側マグネット固定です。下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ち上げるとはずれます。

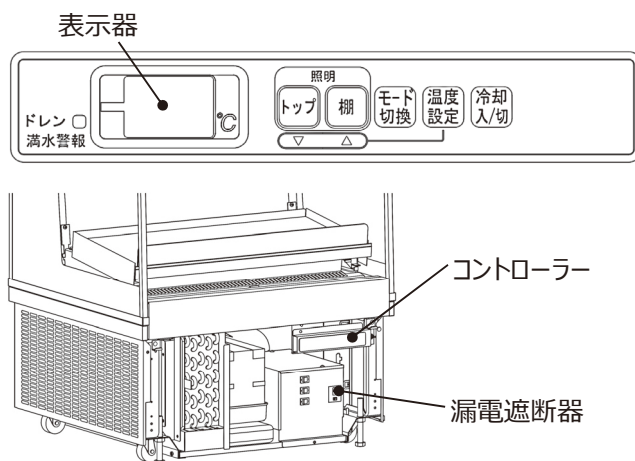


2

表示器に

が表示されていることを確認する

- 表示されていないときは、漏電遮断器がOFFになっていないか確認してください。



3

を3秒以上押し続け、

運転を開始する

- 圧縮機は停止保持時間3分経過後に動き始めます。



4

表示器に庫内温度

(例：庫内温度20℃のとき)

が表示されたことを確認する

- 冷却運転開始時の庫内温度が表示されます。



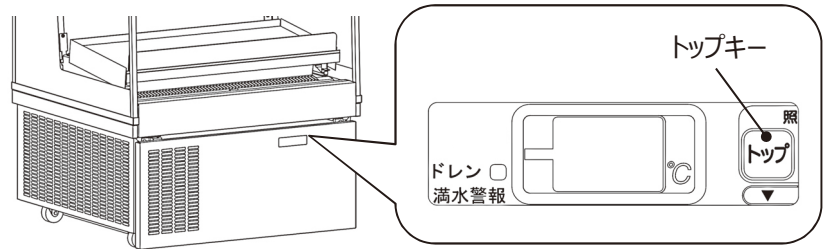
冷却運転を停止するときは、手順3の冷却入/切キーを3秒以上押し続けてください。
表示が『--』に変わります。

トップ照明を点灯・消灯する

点検蓋をあけずに、点検蓋の窓からトップ照明の点灯・消灯操作ができます。

トップ を押し、照明を点灯する

- 消灯するときは、再度トップキーを押してください。

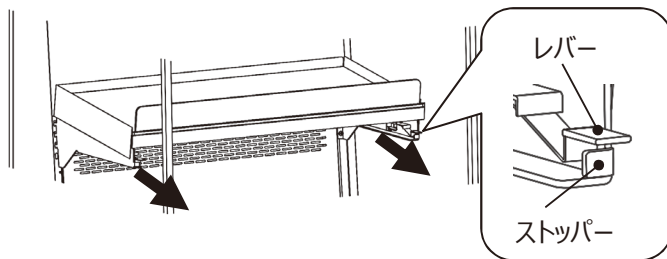


陳列棚（スライド式） について

陳列棚はスライドさせて手前に引き出すことができます。棚の奥へ新しい商品を入れやすく、先入れ先出しが可能です。

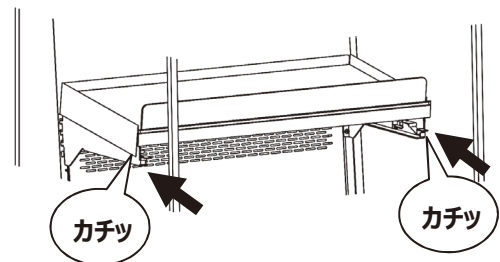
陳列棚（スライド）を引出す

両側の黒いレバーを上へ引いてストッパーから外し、陳列棚の前面を持って手前に引き出してください。



陳列棚（スライド）を戻す

両端の黒いレバーがストッパーに“カチッ”とはまるまで押し込んでください。前側を手前に引いて、陳列棚が前に出てこないことを確認してください。



陳列棚（スライド）許容質量

	SB-HF2014NRA	SB-HF2514NRA	SB-HF3014NRA
許容質量（棚1枚あたり）	20kg	25kg	30kg

ナイトカバーを使う

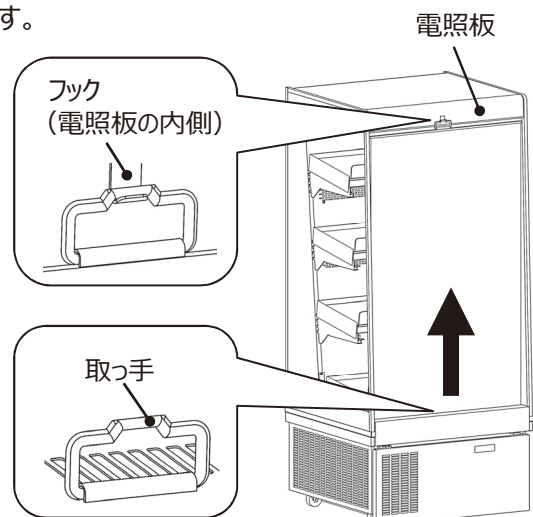
閉店・休店の際に、ご使用いただくと消費電力量を抑えることができます。

（ホット運転や常温運転をしているときはご使用になれません）

ナイトカバーの取っ手を持ち、カバーを引き上げ、照明部中央のフックに引っ掛ける

ナイトカバーを収納するとき

- 周囲環境によってはナイトカバーの表面に結露する場合があります。収納するときに、拭き取ってください。
- 収納するときは、途中で手を離さず、必ず最後まで取っ手を持って収納してください。途中で離すと、取っ手破損の原因になります。



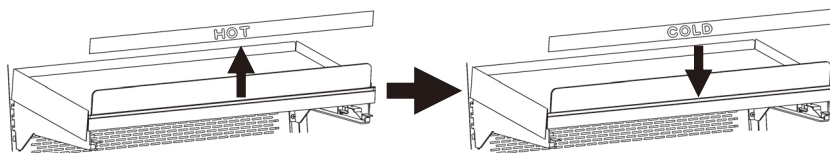
ご使用方法 つづき

オールコールド運転をする

工場出荷時はオールコールド運転仕様に設定していますので、そのままオールコールド運転が開始できます。
オールコールド以外の運転パターンからの変更は以下の通りです。

1 陳列棚前面の表示を“COLD”にする

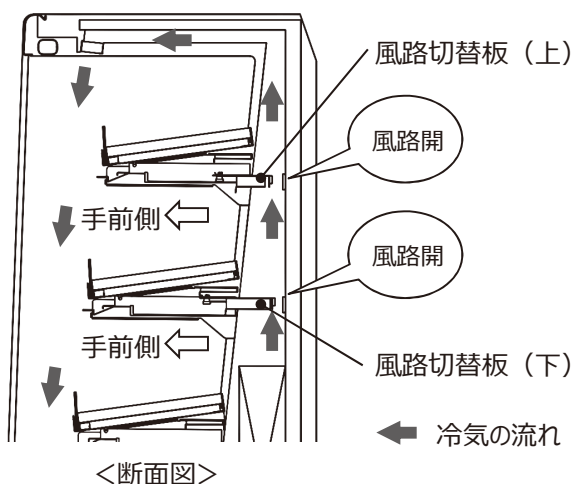
- “HOT”表示の裏側が“COLD”表示になっています。



(図示は“HOT”から“COLD”へ変更の場合)

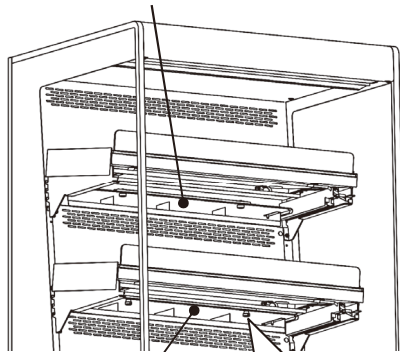
2 風路切替板を操作してオールコールド設定に変更する

風路切替板の位置 (オールコールドの場合)



風路切替板 (上)・(下) の操作方法

風路切替板 (上)



風路切替板 (下)

ツマミねじ
(切替板各2カ所)

① ツマミねじを少しゆるめる

- ツマミねじはゆるめすぎると風路切替板からはずれますのでご注意ください。

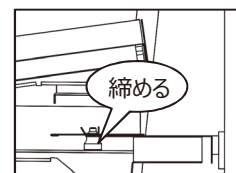


② ツマミねじをもったまま奥側もしくは手前側に突きあたるまでスライドさせる

- 奥側に押すと風路が閉じます。
- 手前側に引くと風路が開きます。

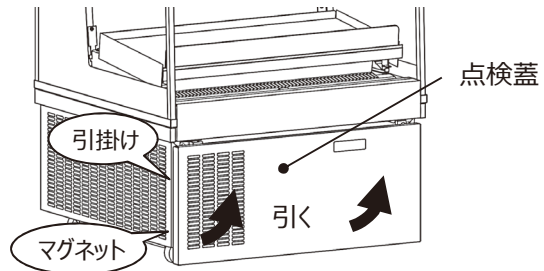


③ 突きあたった位置でツマミねじを締めて風路切替板を固定する



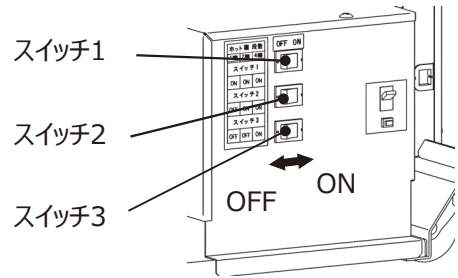
3 点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側引掛け、下側マグネット固定です。下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ち上げるとはずれます。



4 陳列棚ヒーターのスイッチをすべてOFFにする

	オールコード
スイッチ1	OFF
スイッチ2	OFF
スイッチ3	OFF



5 P.12 の手順で冷却運転を開始する

6 陳列棚（スライド式）を引き出してあらかじめ冷やした商品を入れる

- 商品で吹出口や吸入口をふさいだり、エアカーテンよりはみ出して陳列すると、冷気の流れが乱れ商品が冷えにくくなります。



警告

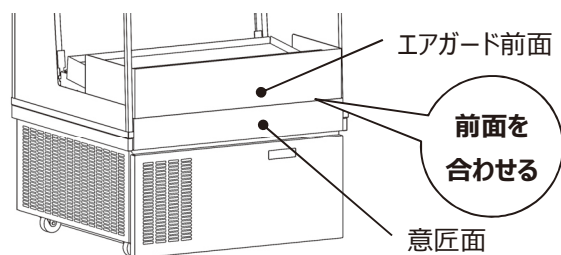
棚には許容質量以上の商品をのせない
ケガの原因

棚1枚あたりの収容本数と目安質量

形名		SB-HF2014NRA	SB-HF2514NRA	SB-HF3014NRA
棚1枚あたりの許容質量		20kg	25kg	30kg
185g缶	本数	55本	65本	80本
	幅×奥行	11×5本	13×5本	16×5本
	質量	12kg	14kg	18kg
350ml ペットボトル	本数	36本	40本	48本
	幅×奥行	9×4本	10×4本	12×4本
	質量	13kg	15kg	18kg
500ml ペットボトル	本数	32本	40本	48本
	幅×奥行	8×4本	10×4本	12×4本
	質量	17kg	21kg	26kg

7 吸込口の前面にエアガードを取付ける

- エアガードを差し込み、前面を意匠面に合わせてください。



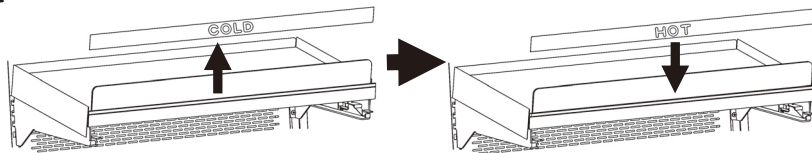
ご使用方法 つづき

ホット&コールド・オールホット運転をする

ホット&コールドやオールホット運転の設定は以下の手順でできます。

1 ホット運転をする陳列棚の表示を "HOT"にする

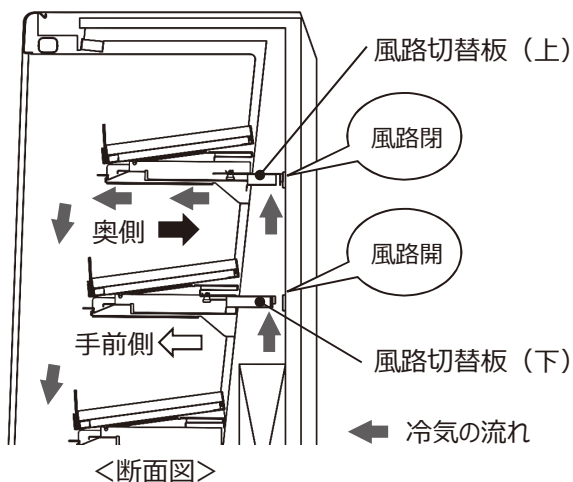
- "COLD"表示の裏側が"HOT"表示
になっています。



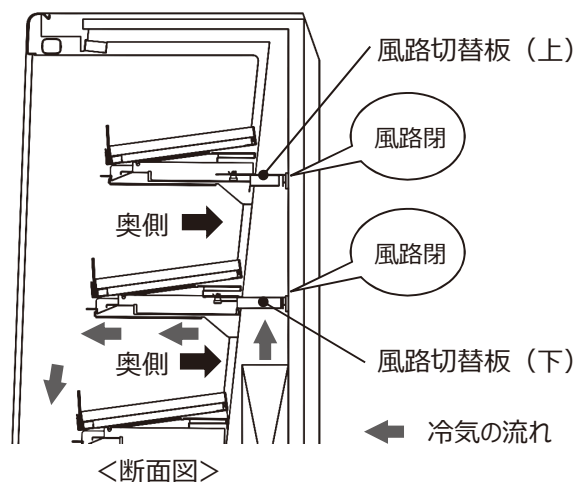
(図示は"COLD"から"HOT"へ変更の場合)

2 運転パターンに合わせて風路切替板を 操作する 操作方法 P.14 手順2

風路切替板の位置 (1ホット&3コールドの場合)



風路切替板の位置 (2ホット&2コールドの場合)

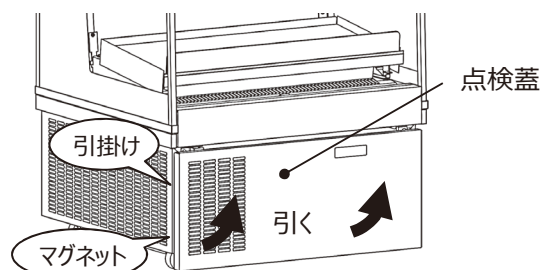


風路切替板の位置 (オールホットの場合)

オールホット運転時は風路切替板の操作の必要はありません。

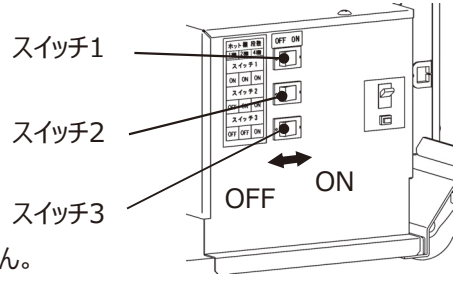
3 点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側引掛け、下側マグネット
固定です。下側を手前に引いてマグネット
をはずし、上に持ち上げるとはずれます。



4 運転パターンに合わせて棚ヒーター スイッチを切り替える

	1ホット&3コールド	2ホット&2コールド	オールホット
スイッチ1	ON	ON	ON
スイッチ2	OFF	ON	ON
スイッチ3	OFF	OFF	ON



- スイッチ3をONにすると、圧縮機と送風機が停止しますが故障ではありません。
オールホット運転のため自動的に圧縮機と送風機が停止します。

5 P.12 の手順で 冷却運転を開始する (オールホット運転のときは操作不要です)

6 コールド運転の陳列棚を引き出し、 あらかじめ冷やした商品を入れる

- 商品で吸込口を塞がないでください。
冷気の流れが乱れ商品が冷えにくくなります。

警告

棚には許容質量以上の商品
をのせない
ケガの原因

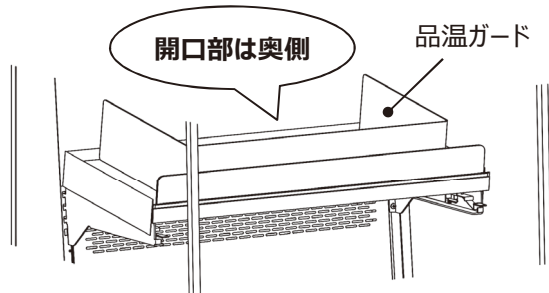
(許容質量と収容本数は **P.15** 手順6をご覧ください)

7 ホット運転の陳列棚を引出し、品温ガードを のせ、その内側に商品を入れる

- 商品の品温を均一に保つために右図のように
品温ガードをのせてください。

加温可能な商品

- ・キャップがオレンジやホット用の記載があるペットボトル
- ・キャップがオレンジやホット用の記載があるボトル缶
- ・缶飲料、ホット用の記載がある炭酸缶飲料



警告

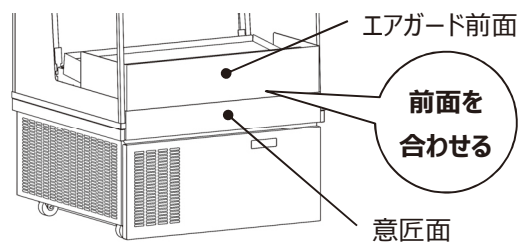
ホット用以外の炭酸飲料・
ビン飲料をホット棚に置かない
破損によるケガ原因

棚1枚あたりの収容本数と目安質量

		SB-HF2014NRA	SB-HF2514NRA	SB-HF3014NRA
185g缶	本数	40本	55本	65本
	幅×奥行	8×5本	11×5本	13×5本
	質量	9kg	12kg	14kg
350ml ペットボトル	本数	28本	36本	44本
	幅×奥行	7×4本	9×4本	11×4本
	質量	11kg	13kg	16kg

8 吸込口の前面にエアガードを取付ける (オールホット運転のときは取付不要ですので 保管をしておいてください)

- エアガードを差し込み、前面を意匠面に
合わせてください。



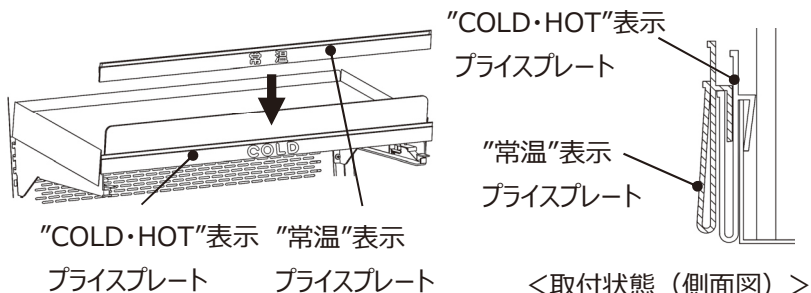
ご使用方法 つづき

常温&コールド運転をする

常温&コールド運転の設定は以下の手順でできます。

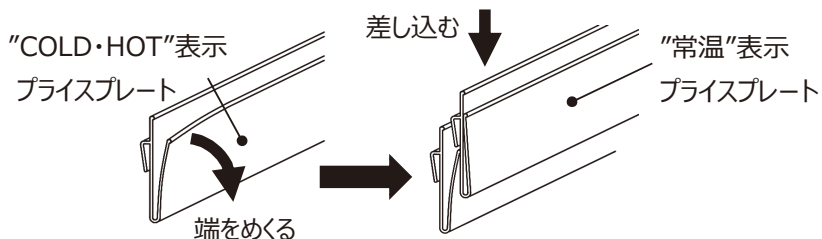
1 常温運転をする陳列棚の"COLD・HOT"表示のプライスプレートに、付属の"常温"表示のプライスプレートを差し込む

- プライスプレートの結露を防ぐため、2枚重ねた状態でご使用ください。



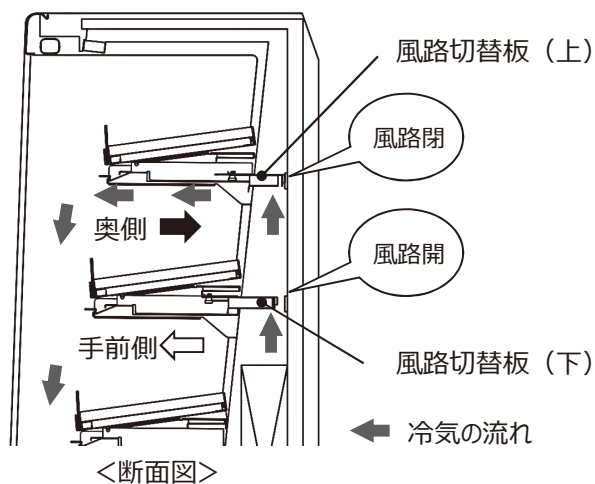
プライスプレートの差し込みかた

陳列棚の"COLD・HOT"表示のプライスプレートの端をめくり、"常温"プライスプレートの一部を差し込んで徐々に端から差し込んでください。

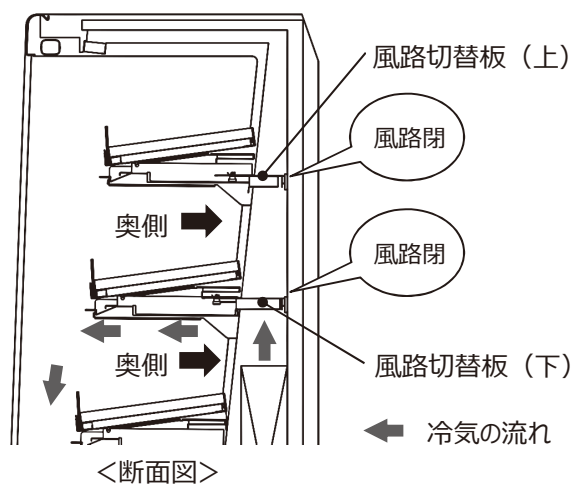


2 運転パターンに合わせて風路切替板を操作する 操作方法 P.14 手順2

風路切替板の位置 (1常温&3コールドの場合)

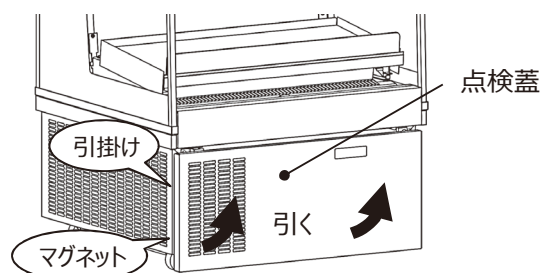


風路切替板の位置 (2常温&2コールドの場合)



3 点検蓋をはずす

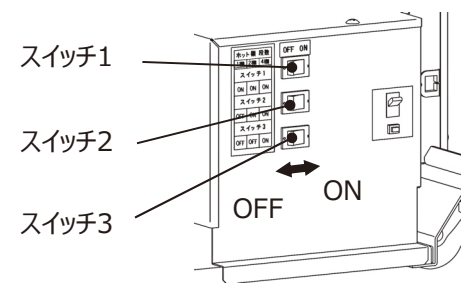
- 点検蓋は上側引掛け、下側マグネット固定です。下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ち上げるとはずれます。



4 運転パターンに合わせて棚ヒーター スイッチを切り替える

	1常温&3コールド	2常温&2コールド
スイッチ1	OFF	OFF
スイッチ2	OFF	OFF
スイッチ3	OFF	OFF

- 常温運転のときには棚ヒータースイッチをONにしないでください。ペットボトル破損の原因になります。



5 P.12 の手順で 冷却運転を開始する

6 コールド運転の陳列棚を引き出し、 あらかじめ冷やした商品を入れる

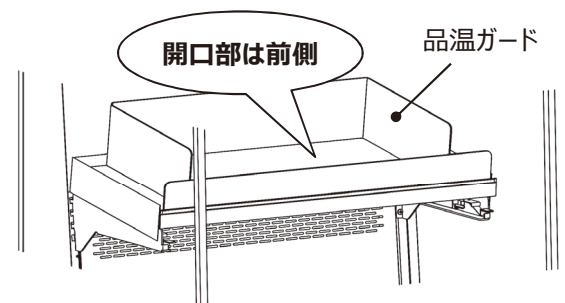
警告

棚には許容質量以上の商品
をのせない
ケガの原因

(許容質量と収容本数は **P.15** 手順6をご覧ください)

7 常温運転の陳列棚を引出し、品温ガードを のせ、その内側に商品を入れる

- 商品の結露防止や品温を均一に保つために右図のように品温ガードをのせてください。

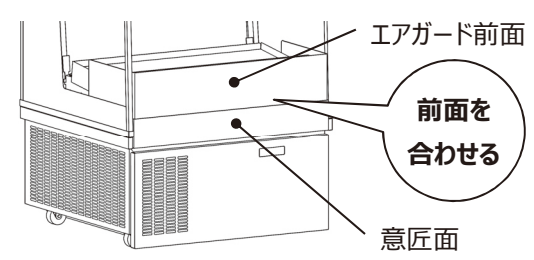


棚1枚あたりの収容本数と目安質量

		SB-HF2014NRA	SB-HF2514NRA	SB-HF3014NRA
350ml ペットボトル	本数	28本	36本	44本
	幅×奥行	7×4本	9×4本	11×4本
	質量	11kg	13kg	16kg
500ml ペットボトル	本数	24本	32本	40本
	幅×奥行	6×4本	8×4本	10×4本
	質量	13kg	17kg	21kg

8 吸込口の前面にエアガードを取り付ける

- エアガードを差し込み、前面を意匠面に合わせてください。



ご使用方法 つづき

コールド運転の目標温度設定値を変更する

コントローラーの目標温度設定値を変更し、コールド運転時の庫内温度を調整することができます。

工場出荷時は **4℃** に設定しています。



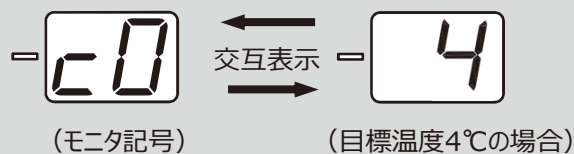
1

温度設定

を3秒以上押し続ける

- モニタ記号と現在の目標温度設定値が交互に表示されます。

コントローラー表示内容

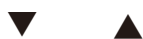


2

トップ

棚

を押し、

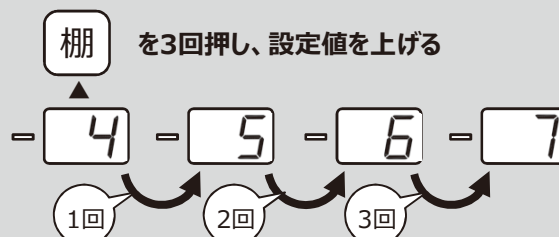


目標温度設定を変更する

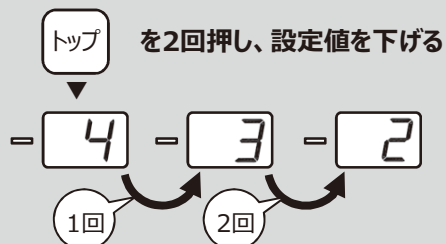
- 設定値を変更すると交互表示はとまります。
- トップキー：設定値を下げるときに押します。
棚キー：設定値を上げるときに押します。
- 目標温度は低温制限値 **2℃** 以下の値は設定はできません。

低温制限値：冷え過ぎを防止ための
設定温度下限値

例) 4℃から7℃に変更する場合



例) 4℃から2℃に変更する場合



3

温度設定

を押し、確定する

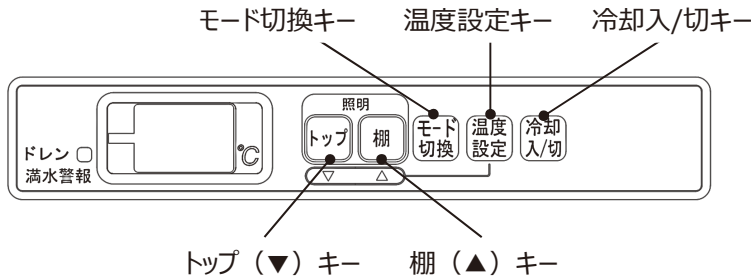
- 運転モードに戻ります



(例 庫内温度 5℃の場合)

コントローラー キー操作ロック機能について

いたずら防止のため、コントローラーのキー操作をロック（操作禁止）することができます。



キー操作ロックのパターン

設定値によって以下のキー操作ロック（操作禁止）パターンが選択できます。

（設定方法 **P.22**）

設定値	ロックされる操作キー				
- 00	工場出荷時設定値です。キー操作ロックは解除されています。				
- 01	トップ	棚	モード切替	温度設定	冷却入/切
- 02			モード切替	温度設定	冷却入/切
- 03			モード切替		冷却入/切
- 04			モード切替		

キー操作ロックされる内容

操作キー	キー操作ロックの内容
トップ 棚	照明ON/OFF操作や設定値変更操作をロックします。 （例 照明点灯中に設定した場合は、操作をしても消灯しません）
モード切替	アフターサービス時の確認操作・設定値の変更操作をロックします。
温度設定	コールド運転時の目標温度値変更操作をロックします。
冷却入/切	冷却運転の開始・停止操作をロックします。 （例 冷却運転中に設定した場合は、操作をしても冷却運転は停止しません）

キー操作ロック中に操作すると表示部に **LC** 表示されます。

キー操作ロック中は一時解除で操作可能になります。

P.23

ご使用方法 つづき

コントローラー キー操作ロックのしかた

キー操作ロックをしていない状態からキー操作ロックを設定するときは以下の手順で設定できます。



1 **モード切替** を3秒以上押し続ける

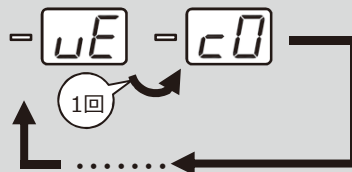
- 設定モードに変更します。

コントローラー表示内容

- **UE** (庫内温度表示から"UE"表示に変わります)

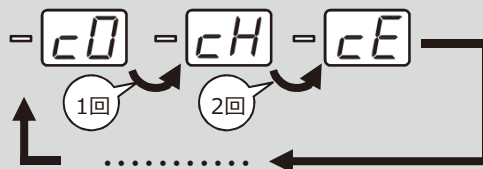
2 **モード切替** を1回押し、モニタ記号 - **CE** を選択する

- 1回以上押し続けた場合はそのまま押し続けると一周します。



3 **トップ** を2回押し、モニタ番号 - **CE** ▼ を選択する

- 2回以上押し続けた場合はそのまま押し続けると一周します。



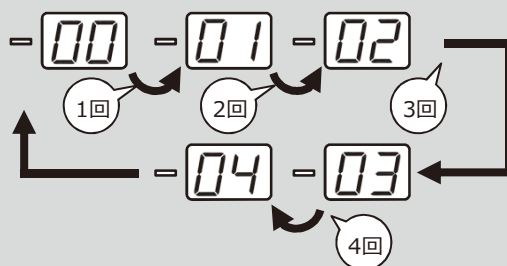
4 **温度設定** を押し、設定値を表示する

- キー操作ロックしていないときは"00"が表示されます。

- **00** (キー操作ロックなし"00"の場合)

5 **棚** を押し、設定値を変更する

- ▲ 00 : ロック解除
 - 01 : モード切替・温度設定・冷却入/切・照明をロック
 - 02 : モード切替・温度設定・冷却入/切 をロック
 - 03 : モード切替・冷却入/切 をロック
 - 04 : モード切替 をロック
- 詳細は **P.21**



(内容に合わせて設定値を選択してください。)

6 **温度設定** を押し、確定する

- **02** → - **CH**

(例 設定値"02"を設定の場合)

7 **モード切替** を3秒以上押し続ける

- 運転モードに戻ります

- **5** もしくは - **--**

(例 庫内温度5℃の場合) (バーバー表示)
現在の庫内温度もしくはバーバーが表示されます

コントローラー キー操作ロック一時解除のしかた

キー操作ロック中に操作するときは、一時解除をしてください。

1 を3回押す

- 操作完了してから5分経過後再びキー操作ロックされます。

コントローラー表示内容



2回繰り返し表示されます

コントローラー キー操作ロック変更・解除のしかた

キー操作ロックの解除、変更は以下の手順でできます。

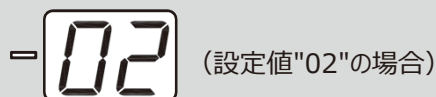
1 を3回押して操作可能にする

コントローラー表示内容




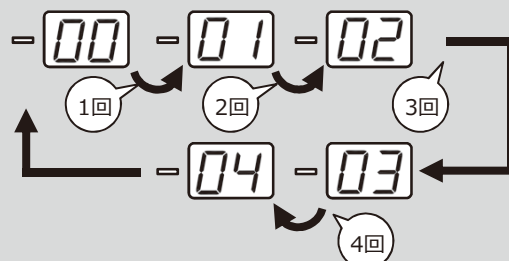
2回繰り返し表示されます

2 の手順1～4で設定値を表示する



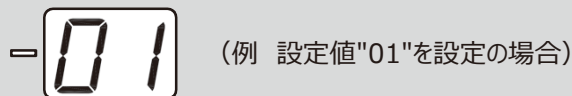
3 を押し、設定値を変更する

- ▲ 00 : ロック解除
- 01 : モード切替・温度設定・冷却入/切・照明をロック
- 02 : モード切替・温度設定・冷却入/切 をロック
- 03 : モード切替・冷却入/切をロック
- 04 : モード切替 をロック 詳細は 



(内容に合わせて設定値を選択してください。)

4 を押し、確定する



5 を3秒以上押し続ける

- 運転モードに戻ります



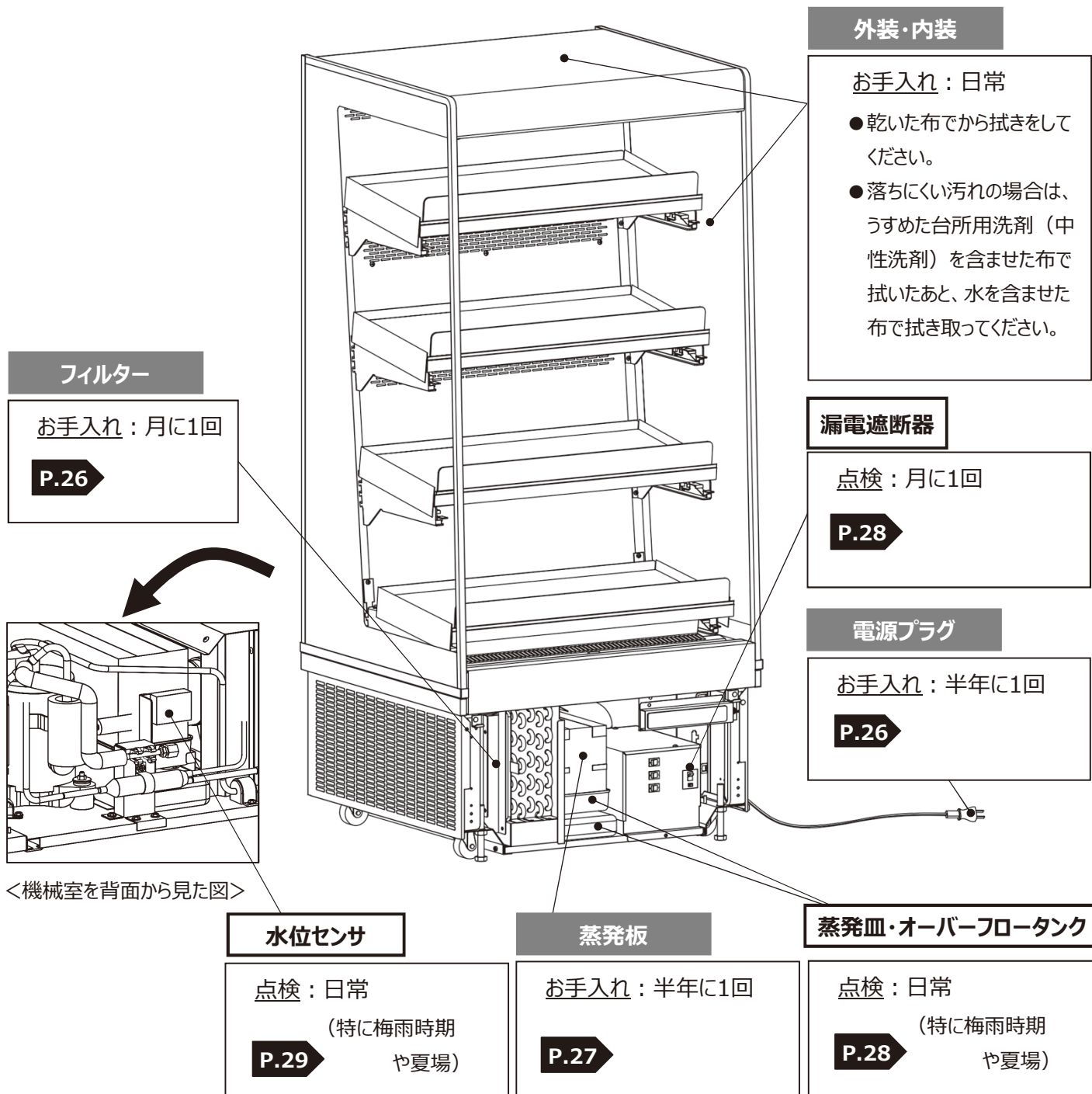
(例 庫内温度5℃の場合) (バーバー表示)

現在の庫内温度もしくはバーバーが表示されます

お手入れと点検

製品を長く、清潔にご使用いただくために
定期的にお手入れ・点検をしてください。

お手入れ・点検箇所と頻度



お願い

● 以下のものは使用しないでください。

(傷つき・腐食・変色・変形の原因になります)

- ◆ 台所用洗剤（中性洗剤）以外の洗剤
- ◆ ベンジン・シンナー・漂白剤・クレンザー・アルコール
- ◆ スチールタワシ・タワシ
- ◆ 熱湯・酸



警告

製品に直接水をかけない
漏電・感電の原因

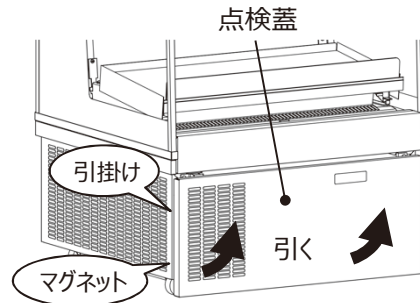
お手入れをする前に

お手入れのときは必ず下記の手順で冷却運転を停止し、安全のために電源プラグを抜くか漏電遮断器を切ってください。

1

点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側引掛け、下側マグネット固定です。下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ち上げるとはずれます。

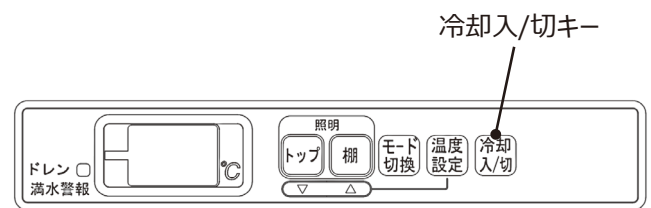


2



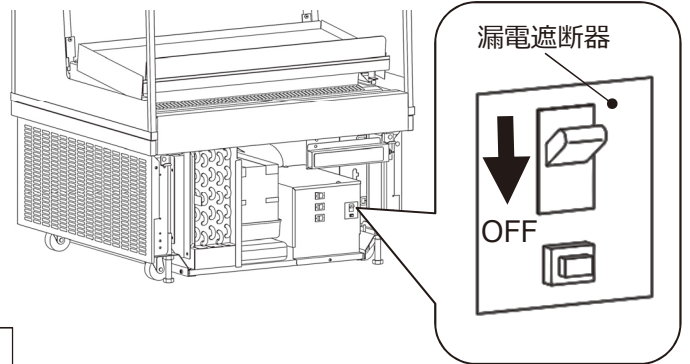
を3秒以上押し、

運転を停止する



3

電源プラグを抜くか漏電遮断器を「OFF」にする



 **警告**

お手入れや点検のときは
必ず電源プラグを抜くか
漏電遮断器を切る
感電・ケガの原因

お手入れが終わりましたら、逆の手順で冷却運転を開始してください。
再び電源プラグを差すときはほこりをよく取り除き、根元まで確実に差し込んでください。

お手入れと点検 つづき

お手入れのしかた

フィルター お手入れ：月に1回

ほこりがたまった状態で運転を続けると、圧縮機故障の原因になります。

1 P.25 の手順で電源を切る

- お手入れのときは電源を切ってください。

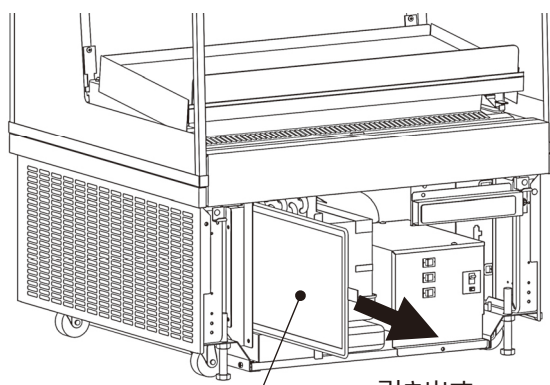
2 フィルターを引き出してほこりをよく取り除く

- 掃除機や、やわらかいブラシで取り除いてください。



注意

フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れないケガの原因



フィルター 引き出す

点検が終わりましたら、フィルターを正しい向きに入れ直し、運転を再開してください。

電源プラグ お手入れ：半年に1回

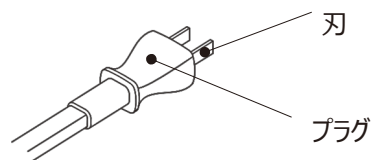
ほこりがたまった状態で使用すると、絶縁不良による火災の原因になります。

1 P.25 の手順で電源を切る

- お手入れのときは電源を切ってください。

2 電源プラグや刃のほこりをよく取り除く

- 水ぶきや水洗いはしないでください。



3 電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む



注意

電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む火災・感電の原因

蒸発板 お手入れ：半年に1回

蒸発板によごれが付着していると、蒸発性能低下による水漏れの原因になります。

1

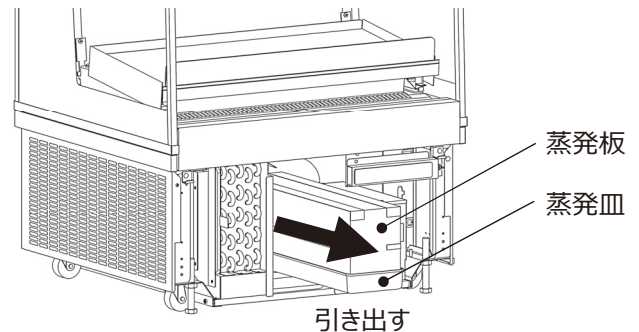
P.25 の手順で電源を切る

- お手入れのときは電源を切ってください。

2

蒸発皿と蒸発板を引き出す

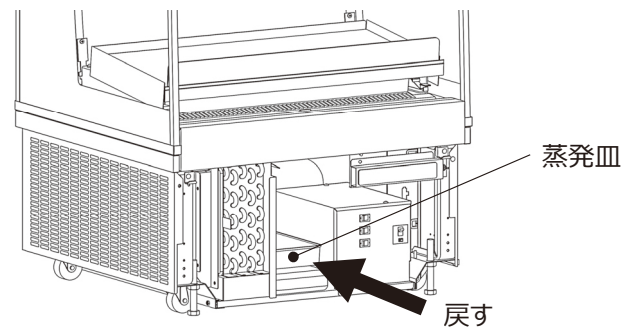
- 蒸発皿にドレン水がのこっている場合があります。布など水を吸い取り、引き出してください。



3

蒸発皿のみ元の位置に戻す

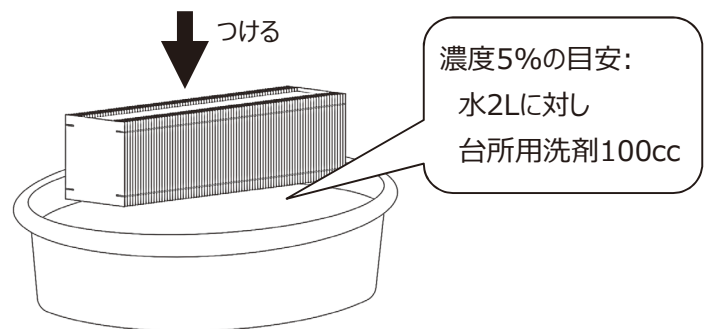
- 蒸発板をお手入れする間ドレン水を受けるため元に戻してください。



4

蒸発板を台所用洗剤（中性洗剤）を濃度5%にうすめた液に30秒ほどつける

- 蒸発板は水を含むと重くなります。持ち上げるときは蒸発板の底面を支えてください。
- 蒸発板をブラシなどでこすらないでください。



5

水でよく洗い流す

- 洗剤分が残っていると蒸発板のフレームのさびの原因になります。
- すぐに冷却運転を開始しないときは、蒸発板を乾かしてからショーケースに戻してください。

蒸発板の交換について

- お手入れをしても頻繁にドレン水が残っているときは、新しい蒸発板に交換してください。
- 蒸発板は消耗品です。2年を目安に交換してください。
- 環境によっては蒸発板の性能低下が進み、1年前後で交換になる場合があります。（粉塵・油分の多い場所・温度・湿度の高い環境など）
- 蒸発板はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お手入れと点検 つづき

点検のしかた

漏電遮断器 点検：月に1回

故障した状態でご使用すると、火災・感電の原因になります。



漏電遮断器は定期的に
動作を確認する
火災・感電の原因

1 冷却運転を停止する P.12

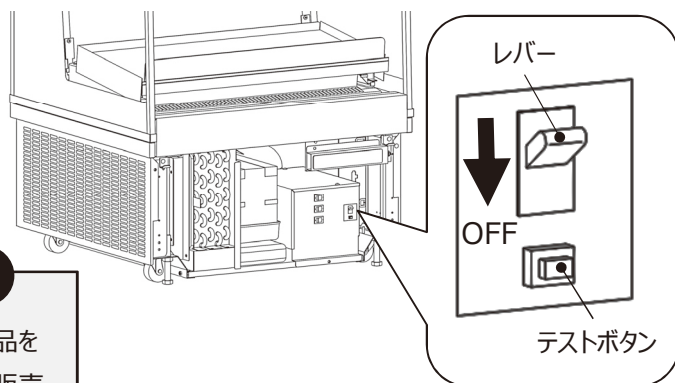
- 点検は電源が入っている状態で行ってください。

2 漏電遮断器のテストボタンを押す

- 正しく作動するとレバーが「OFF」になります。

点検時に正しく漏電遮断器が作動しないとき

運転を停止して必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を他のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。



3 作動確認後、レバーの位置を「OFF」から「ON」にする

蒸発皿・オーバーフロータンク 点検：日常（特に梅雨時期や夏場）

水漏れを防止するために、蒸発皿やオーバーフロータンクにドレン水が残っていないか定期的に点検をしてください。

1 P.25 の手順で電源を切る

- 点検のときは電源を切ってください。

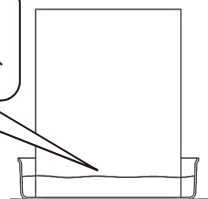
2 蒸発皿にドレン水が残っていないか確認し、残っているときは排水をする

- 蒸発皿深さ半分くらいのドレン水が頻繁に残っているときは蒸発板の性能が低下しているおそれがあります。蒸発板のお手入れをするか、新しい蒸発板に交換してください。

P.27

P.29

水位目安：
蒸発皿深さの半分



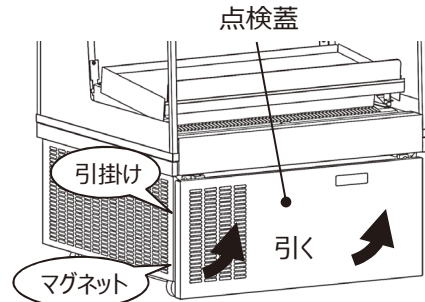
点検のしかた (つづき)

水位センサ 点検：日常（特に梅雨時期や夏場）

水位センサが正常に作動するか定期的に点検をしてください。

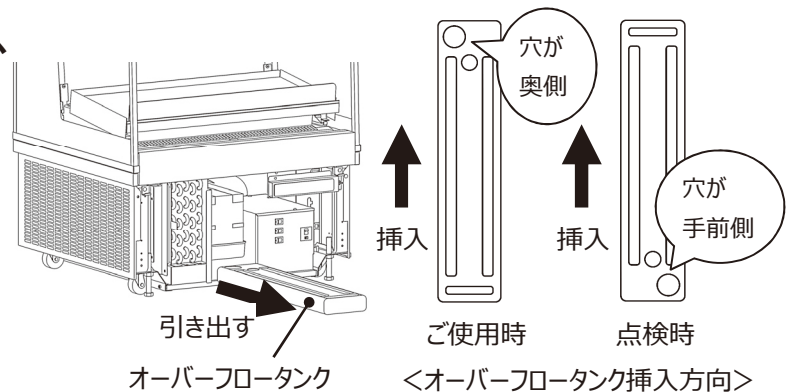
1 点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側引掛け、下側マグネット固定です。下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ち上げるとはずれます。
- 点検は電源が入っている状態で行ってください。



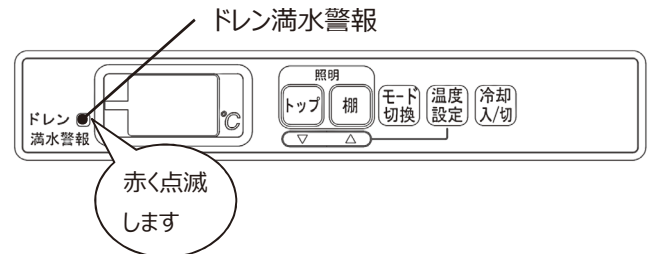
2 オーバーフロータンクを一度引き出し、前後を反対にして再び差し込む

- 前後反対に挿入することで、簡易的に水がたまっていると同様の状態にします。
- 上下逆に挿入しないでください。オーバーフロータンク内に水が入っている場合、水漏れの原因になります。



3 コントローラーのドレン満水警報が点滅することを確認する

- ドレン満水警報が点滅しないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

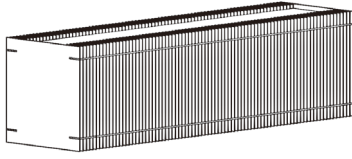


4 オーバーフロータンクを正しい向きに入れなおす

消耗品

下記の部品は消耗品になりますので、必要に応じて交換をしてください。


ご注文はお買い上げの販売店へお問い合わせください。


蒸発板	
SB-HF2014NRA	
SB-HF2514NRA	
SB-HF3014NRA	
	R22043868 (共通品) 交換目安:2年

交換目安はご使用方法・環境により変化します。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に以下の項目をお調べください。お調べになっても不具合がある場合は運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上でお買い上げの販売店にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
運転しない	停電ではありませんか。	停電解消までお待ちください。 停電解消ののち、運転を再開します。
	お店の電源ヒューズや配線用漏電遮断器がきれていませんか。	お店の電源ヒューズや配線用漏電遮断器をご確認ください。
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグや刃のほごりをよく取り除き根元まで確実に差し込んでください。
	ショーケースの漏電遮断器が「OFF」になっていませんか。	漏電遮断器を「ON」にしてください。
	 が表示されていませんか。	冷却運転停止中です。 冷却運転を開始してください。 P.12
	 が表示されていませんか。	霜取り運転を行っています。 30分程で運転を再開します。 P.8
	運転停止後3分以内で運転を再開していませんか。	運転後停止後、3分以内に再開した場合は、圧縮機は3分経過後に運転を開始します。
音がうるさい	床がしっかりしたところに据え付けていますか。	水平で床が丈夫な場所に据え付けてください。 P.11
	ショーケースが壁や物などに当たっていませんか。	ショーケースが壁や物などに当たらないように据え付け位置を調整してください。
蒸発皿にドレン水が頻繁にたまる	ショーケースに風があたっていませんか。	ショーケース庫内に外気が入りやすくなり、ドレン水が増える原因になります。 据え付け場所を調整してください。 P.10
	蒸発板がよごれていませんか。	蒸発板のお手入れをしてください。 それでも良くならない場合は新しい蒸発板に交換してください。 P.27 P.29

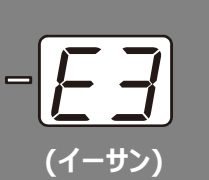
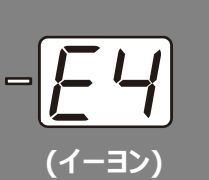
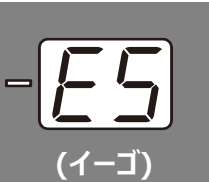
現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない	風路切替板が奥に差し込まれていませんか。	運転パターンにあわせ、切替板を正しく操作してください。 P.14
	吸気口・排気口をふさいでいませんか。	機械室の吸気・排気のために10cm以上すきまをあけてください。 P.10
	直射日光があたったり、近くに熱源はありませんか。	周囲の温度が上昇し、冷却性能が悪くなる原因になりますので据え付け場所を調整してください。 P.10
	店舗出入口付近や空調ダクト・換気扇のそばに据え付けていませんか。	ショーケース庫内に外気が入りやすくなりますので、風があたらないように据え付け場所を調整してください。 P.10
	 が表示されていませんか。	冷却運転停止中です。冷却運転を開始してください。 P.12
	冷気の吹出口・吸込口を商品などで塞いでいませんか。	冷気の吹出口・吸込口から商品などを取り除いてください。
	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れしてください。 P.26
	エアガードを正しく取り付けられていますか。	エアガードを取り付けてください。 P.15 P.17 P.19
よく温まらない (P.32につづく)	商品が傾いていたり、横になっていませんか。	商品を立てて並べてください。
	正しくホット運転のすべての設定ができていますか。	風路切替板とヒータースイッチを確認してください。 P.16
	商品を入れてからの経過時間が短くありませんか。	少し時間をおいてから再び商品の温まり具合を確認してください。

故障かな?と思ったら つづき

現象	原因の確認	処置方法
よく温まらない (つづき)	品温ガードを正しく取り付けられていますか。	品温ガードを取り付けてください。 P.17
常温飲料が冷たく感じる あたたかく感じる	常温運転の棚の下にある風路切替板は奥に差し込まれていますか。	運転パターンにあわせ、切替板を正しく操作してください。 P.18
	常温棚に品温ガードが正しく取り付けられていますか。	品温ガードの開口部を前側に向けてセットしてください。 P.19
	常温棚のヒーターが「ON」になっていませんか。	点検蓋をあけ、スイッチが「ON」になっていないか確認し、「ON」になっているときは「OFF」にしてください。 P.19
常温運転時に結露する	品温ガードをセットしていますか。	品温ガードの開口部を前側に向けてセットしてください。 P.19
	常温棚のプライスプレートを一枚でご使用になられていませんか。	常温棚のプライスプレートは、2枚重ねてご使用ください。 P.18
コントローラーの操作ができない	 が表示されていませんか。	キー操作ロックの一時解除もしくは、解除をしてください。 P.23
ドレン満水警報が赤く点滅する ドレン <input type="checkbox"/> 満水警報	蒸発性能が低下しています。 蒸発板が汚れていませんか。	蒸発板のお手入れをしてください。 それでも良くならない場合は新しい蒸発板に交換してください。 P.27 P.29
	オーバーフロータンクは正しい向きに取り付けていますか。	オーバーフロータンクを正しい向きに入れ直してください。 P.29

コントローラーにエラー表示が出たときは

庫内温度表示と以下の表示が交互に表示されているときは、原因の確認と処置を行なってください。

現象	原因の確認	処置方法
 <p>(イーサン)</p>	<p>圧縮機が高温になっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。</p>	<p>フィルターのお手入れをして、運転を再開してください。</p> <p style="text-align: right;">P.26</p>
 <p>(イーヨン)</p>	<p>圧縮機が高圧になっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。</p>	
 <p>(イーゴ)</p>	<p>吐出配管が高温になっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。</p>	

その他の表示が出たときは

つぎのような表示が出ているときは部品が故障している可能性があります。
運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買上げの販売店にご連絡ください。

- 上記以外の表示が庫内温度と交互表示しているとき
- 庫内温度表示が点滅（点滅周期 3秒点灯 0.5秒消灯しているとき）

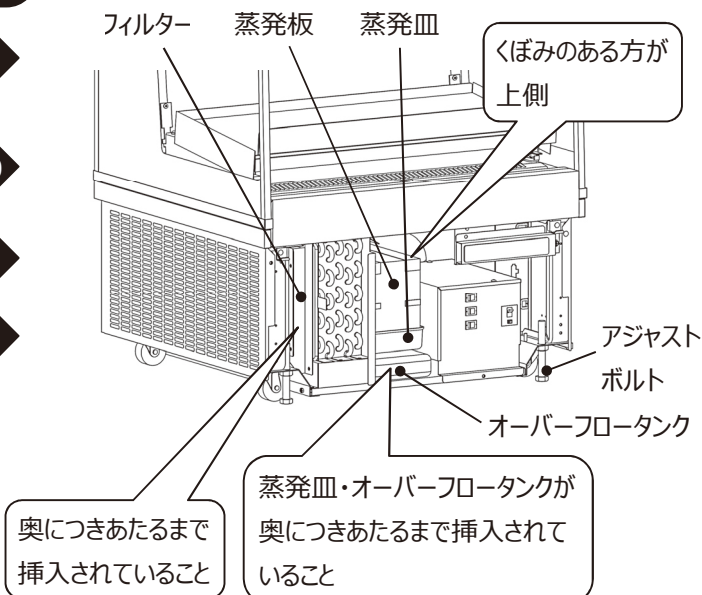
◇ 庫内温度表示が点滅周期 0.5秒点灯 0.5秒消灯で点滅しているときは除霜禁止モードです。
コントローラーの温度設定キーを2回押して点滅が解除されるか確認してください。（故障ではありません）

据付工事確認と試運転

試運転を行うときは、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、据付実施者から説明を受けてください。

据付工事完了時の確認事項

- アジャストボルトで固定されていますか。 **P.11**
- ショーケースの吸気・排気スペースは確保されていますか。 **P.10**
- アース線が接続されていますか。 **P.11**
- ショーケース専用のコンセントを使用していますか。 **P.11**
- フィルターが挿入されていますか。
- 蒸発皿・オーバーフロータンクの位置のずれや、蒸発板が上下逆になっていませんか。



保管・移設・廃棄について

長期間ご使用にならないとき

- 庫内の商品を全て取り出し、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 水のかかる場所や、湿気の多いところには保管しないでください。
- 製品を保管するときは幼児が遊ぶ場所をさけてください。
- 庫内の水気をよく乾燥させてください。
- 蒸発板のお手入れをしてください。

移設をするとき

- 移設は販売店または専門業者にご依頼ください。
- 取扱説明書と「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別添)を製品の目立つところに添付してください。

廃棄をするとき

- 廃棄は販売店または専門業者にご依頼ください。

仕様

項目		形名	SB-HF2014NRA	SB-HF2514NRA	SB-HF3014NRA
用途			飲料		
庫内温度		℃	コールド：5～10℃ / ホット：50～60℃		
電源		-	単相100V		
本	外形寸法	高さ	1495		
		幅	650	750	900
		奥行	600		
	有効内容積	L	177	204	246
	陳列面積	m ²	0.66	0.77	0.94
	外装	-	表面処理鋼板焼付塗装・ステンレス・ガラス・ABS樹脂		
	内装	-	表面処理鋼板焼付塗装		
	断熱材	-	ウレタン注入発泡		
体	脚部	-	ナイロン車輪径Φ50自在キャスター4個		
	照明灯	-	LED 9.2W×1	LED 14.3W×1	
圧縮機	形式	-	全密閉形（レシプロ式）		
	呼称出力	W	500		
冷媒	種類	-	CO ₂ （R744）		
	冷媒封入量	g	610	640	680
	制御方式	-	電子膨張弁		
	冷却器形式	-	クロスフィン（強制通風式）		
	凝縮器形式	-	クロスフィン（強制通風式）		
	温度制御	-	マイコン制御		
	除霜方式	-	オフサイクル方式		
	付属品	-	ドレン強制蒸発装置、オーバーフロータンク、収納式ナイトカバー、棚ガード、エアガード、品温ガード、アジャストボルト、プライスプレート、COLD・HOT表示、常温表示		
	製品質量	kg	131	143	152

品質向上のため、おことわりなく一部仕様を変更する場合がございます。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

- 「保証書」は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 「保証書」は内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買上げ日から1年間です。
(冷凍サイクル用部品は2年間です。)

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このショーケースの補修用性能部品を製造打切後12年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店が「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別添）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P.30~33)にしたがってお調べください。

- なお、不具合がある場合は運転を停止して必ず電源プラグを抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買上げの販売店にご連絡ください。

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料になることがあります。

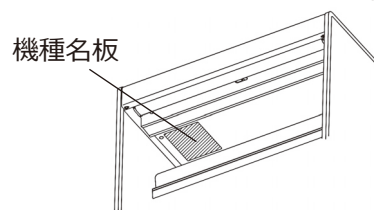
●修理料金は

技術料+部品代+出張料などで構成されています。

- ◆技術料・・・製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- ◆部品代・・・修理に使用した部品代金です。
- ◆出張料・・・お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●ご連絡頂きたい内容

1. 品名 三菱ショーケース
(ノンフロンであることをお伝えください。)
2. 形名 (庫内機種名板に記載
例) SB-HF2014NRA)
3. 製造番号 (庫内機種名板に記載の8桁の番号)



4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. 設置年月日
6. 設置場所のご住所
7. お名前・電話番号・訪問希望日

便利メモ

お買上販売店名

電話番号

三菱電機株式会社

三菱電機冷熱応用システム株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号 (三菱電機 (株) 冷熱システム製作所内)